

機械器具（51）医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 間欠泌尿器用カテーテル 36125000

*（洗浄向け泌尿器用カテーテル34930010／直腸用カテーテル10746000）

トップ ネラトン カテーテル マルチ

再使用禁止

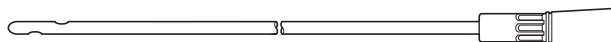
【禁忌・禁止】

1) 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

<構造図(代表図)>

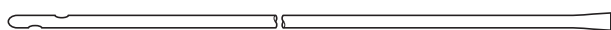
◆カテーテルテーパーアダプタ付



◆カテーテルテーパー加工



◆ルアーテーパー加工



(材質)

カテーテル	ポリ塩化ビニル
アダプター	ポリ塩化ビニル

・本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（2－エチルヘキシル））を使用している。

*（仕様）

- ・ JIS T 3214（ぼうこう（膀胱）留置用カテーテル）
- ・ JIS T 3240（下部消化管用カテーテル及びチューブ）

*【使用目的又は効果】

経尿道的に膀胱に挿入し、導尿、採尿又は膀胱の洗浄に用いること。また、経肛門的に下部消化管に挿入し、減圧若しくは腸管内容物の体外への排出、造影剤等を注入するために用いることもできる。

*【使用方法等】

◆泌尿器用カテーテルとして使用する場合

1. 尿道口及び尿道周囲を消毒剤で十分に消毒する。
2. カテーテルの挿入部位に潤滑剤を塗布し、尿道口からゆっくりと挿入する。
3. 必要に応じて接続部にコネクター又はシリンジの筒先を確実に接続し、導尿や膀胱洗浄等の処置を行う。
4. 必要な処置が完了したら、ゆっくりと引抜き体外へ抜去する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 1) 使用前に滅菌蒸留水等で通水を確認すること。
- 2) 尿道への挿入時に困難を認めた場合には、無理な挿入はやめること。

◆直腸用カテーテルとして使用する場合

1. 接続部にコネクター又はシリンジの筒先を確実に接続する。
2. カテーテルの挿入部位に潤滑剤を塗布し、肛門からゆっくりと挿入する。
3. 減圧又は腸管内容物の体外への排出、造影剤等の注入等の必要な処置を実施する。
4. 必要な処置が完了したら、ゆっくりと引抜き、体外へ抜去する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 1) カテーテルの先端部側から肛門に挿入すること。
- 2) 挿入する部位の粘膜損傷に注意すること。
- 3) チューブを深く挿入しすぎないこと。[直腸穿孔を引き起こすおそれがある。]
- 4) チューブを挿入する際は、接続部側を十分に残して挿入すること。[チューブが抜去できなくなるおそれがある。]
- 5) チューブを抜去する際は、ゆっくり引き抜くこと。[粘膜損傷を引き起こすおそれがある。]

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- 1) 使用前、カテーテルサイズや形状等が用途や挿入部に適合していることを確認すること。
- 2) カテーテルを鉗子等でつまんだり、ハサミや刃物等で傷つけないように気を付けること。[漏れやカテーテル破断のおそれがある。]
- 3) 接続部にシリンジ等の他の医療機器を接続する場合は、確実に接続されていることを確認してから使用すること。
- 4) カテーテル挿入時に異常な抵抗を感じたり、手技中に患者が痛みを訴えた場合は、速やかに操作を中止し、その原因を確認すること。また、担当医の指示のもと適切な処置を行うこと。
- 5) カテーテル及びカテーテルと接続している箇所は、過度に引っ張ったり、押し込んだり、折り曲げるような負担を加えないように注意すること。[カテーテルの抜け、破損、伸び等が生じるおそれがある。]

<相互作用(他の医薬品・医療機器との併用に関する事)>

- 1) 脂溶性の薬剤等ではポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ（2－エチルヘキシル）が溶出するおそれがあるので、注意すること。

<不具合・有害事象>

- * 1) その他の不具合
 - ・カテーテル及びコネクタの破損
 - ・カテーテルの閉塞
 - ・カテーテルのキンク
- * 2) その他の有害事象
 - ・感染
 - ・直腸粘膜損傷
 - ・直腸穿孔

【保管方法及び有効期間等】

<保管の条件>

- ・水ぬれに注意して保管すること。高温又は湿度の高い場所や、直射日光の当たる場所には保管しないこと。

<有効期間>

- ・内箱の使用期限欄を参照のこと。[自己認証（自社データ）による。]

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社トップ（添付文書の請求先）
TEL 03-3882-3101

